

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(五大石油会社の業績比較:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/ExxonShellBp.html> )

(石油:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/oil.html> )

マイライブラリー:0372

(注)本稿は2016年2月16日から3月15日まで16回にわたり「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2016.3.17  
前田 高行

## 油価下落が直撃、売上・利益が大幅減：五大国際石油企業2015年度業績速報

目次	頁
I. 各社の業績概要	
1. ExxonMobil の2015年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	3
2. Shell の2015年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	4
3. BP の2015年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	4
4. Total の2015年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	5
5. Chevron の2015年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	6
II. 2015年の業績比較	
1. 売上高	6
2. 利益	7
3. 売上高利益率	7
4. 設備投資額	8
5. 石油及び天然ガス生産量	
(1)石油生産量	8
(2)天然ガス生産量	8
(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)	8
III. 2014年と2015年の5社業績比較	
1. 売上高	9
2. 損益	
(1)総合損益	10
(2)上流部門と下流部門の損益比較	10
3. 設備投資	11

III. 8カ年(2008-2015年)業績推移の比較	
1. 売上高	11
2. 利益	12
3. 売上高利益率	13
4. 設備投資	13
5. 石油及び天然ガス生産量	
(1)石油生産量	14
(2)天然ガス生産量	15
(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)	15

国際石油企業(International Oil Companies, IOCs)の2015年第4四半期(10-12月)及び年間(1-12月)の決算が発表された。本稿では ExxonMobil、Shell、BP(英)、Total(仏)及び Chevron(米)の主要5社を取り上げ、各社の売上高、利益、石油・ガス生産量、投資額等を概観し、さらに5社の業績比較を行う。

## I. 各社の業績概要 (末尾表:1-D-4-20 参照)

### 1. ExxonMobil の 2015 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

\* 同社ホームページ:

<http://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-162-billion-2015-28-billion-during-fourth-quarter>

#### (1)売上高

ExxonMobil の 2015 年 10-12 月の売上高は 598 億ドルであり、また通年売上高は 2,689 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ-32%、-35%の減収である。

#### (2)利益

10-12 月期及び通年の利益はそれぞれ 28 億ドル及び 162 億ドルであり、前年同期と比較すると 10-12 月期は-58%、通年では-50%であり、いずれも前年比半減の大幅な減益であった。通年利益のうち上流部門の利益は 2014 年の 275 億ドルに対して 2015 年は4分の1の 71 億ドルにとどまっている。一方下流部門は 2014 年の 30 億ドルに対して 2015 年は 66 億ドルと倍増し上流部門とほぼ肩を並べている。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

ExxonMobil では従来上流部門の利益が大きな割合を占めてきたが、ここにきて下流部門が会社の利益を支える状況にある。原油価格の急落が上流部門の利益を圧迫し、逆に安価な原油価格に支えられて下流部門の利益が急増する状況にある。この傾向は以下に触れるとおり他の 4 社でも同様もしくはそれ以上の厳しい結果になっている。

#### (3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 6.0%であり、前年の 7.9%より落ちている。

#### (4)設備・探鉱投資

2015 年の年間の設備・探鉱投資額は 311 億ドルであり、これは 2014 年比で 19.4%の減少であった。

#### (5)石油・ガス生産量

昨年の ExxonMobil の石油生産量は日量平均 2,345 千バレル(以下 B/D)であり、前年(2014 年)比で 11.1%増であった。天然ガスは日量平均 10,515 百万立方フィート(以下 mcmcf)であり、これは前年比 5.7%減である。石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 4,097 千 B/D となり、2013 年比では 3.2%増である。

## **2. Shell の 2015 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績**

\* 同社ホームページ:

<http://www.shell.com/media/news-and-media-releases/2016/fourth-quarter-2015-results-announcement.html>

### (1)売上高

Shell の 2015 年 10-12 月の売上高は 602 億ドルであり、また通年売上高は 2,722 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ-36%、-37%の減収である。

### (2)利益

10-12 月期及び通年の利益はそれぞれ 9.4 億ドル及び 19 億ドルであり、前年同期と比較すると 10-12 月期は 58%の増益であったが、通年では前年比 8 分の 1 近い大幅な減益となっている。通年利益のうち上流部門は 57 億ドルの損失であるのに対して下流部門は前年比 64%増の 102 億ドルの利益を計上しており好対照となっている。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

### (3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率はわずか 0.7%にとどまっており、前年の 3.4%から大幅に悪化している。

### (4)設備・探鉱投資

2015 年の年間の設備・探鉱投資額は 289 億ドルであり、これは 2014 年比で 23%の減少であった。

### (5)石油・ガス生産量

昨年の Shell の石油生産量は日量平均 1,509 千 B/D であり、前年(2014 年)とほぼ同量であった。天然ガスは日量平均 8,380mmcf/d であり、こちらは前年比 10%減である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,954 千 B/D となり、2014 年比では-4%である。

## **3. BP の 2015 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績**

\* 同社ホームページ:

<http://www.bp.com/en/global/corporate/press/press-releases/fourth-quarter-2015-results.html>

### (1)売上高

BP の 2015 年 10-12 月の売上高は 492 億ドルであり、また通年売上高は 2,229 億ドルであった。前年同期比では 10-12 月期は-34%、通年ベースでも-37%の減収である。

### (2)利益

10-12 月期は前年同期に引き続き赤字となりその損失額は 33 億ドルであった。通年ベースでは前

年の黒字から一転して 65 億ドルの大幅な赤字決算となった。部門別では上流部門は通年で 9 億ドルのマイナスとなり、下流部門は前年比 2 倍弱の 71 億ドルの利益を計上した。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率はマイナス 2.9%である。なお前年はプラス 1.1%であった。

(4)設備・探鉱投資

2015 年の年間の設備・探鉱投資額は 195 億ドルであり、これは 2014 年比で 18%減であった。

(5)石油・ガス生産量

昨年の BP の石油生産量は日量平均 1,232 千 B/D であり、前年(2014 年)比 11%増であった。天然ガスは日量平均 5,951mmcf/d であり前年とほぼ同量である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,258 千 B/D となり、2014 年比では 5%増である。

#### **4. Total の 2015 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績**

\* 同社ホームページ:

<http://www.total.com/en/media/news/press-releases/fourth-quarter-and-full-year-2014-results>

(1)売上高

Total の 2015 年 10-12 月の売上高は 377 億ドルであり、また通年売上高は 1,654 億ドルであった。前年同期比では 10-12 月期は-28.2%、通年ベースでは-30%の減収である。

(2)利益

10-12 月期は-16 億ドルの損失、通年では 51 億ドルの利益であり、前年同期と比較すると 10-12 月期は損失額が 4 分の 1 に縮小、通年では-60%の減益である。通年利益のうち上流部門の利益は 48 億ドルで前年に比し半減している。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 3.1%であり、前年の 5.4%より悪化している。

(4)設備・探鉱投資

2015 年の年間の設備・探鉱投資額は 204 億ドルであり、これは 2014 年比で 16%の減少であった。

(5)石油・ガス生産量

昨年の Total の石油生産量は日量平均 1,237 千 B/D であり、前年(2014 年)比 20%増であった。天

然ガスは前年と横ばいの日量平均 6,054mmcf/d である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,347 千 B/D となり、2014 年比 9.4%増である。

## 5. Chevron の 2015 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

\* 同社ホームページ:

[http://www.chevron.com/chevron/pressreleases/article/01292016\\_chevronreportsfourthquarterlossof588millionand2015earningsof46billion.news](http://www.chevron.com/chevron/pressreleases/article/01292016_chevronreportsfourthquarterlossof588millionand2015earningsof46billion.news)

### (1)売上高

Chevron の 2015 年 10-12 月の売上高は 292 億ドルであり、また通年売上高は 1,385 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ-37%, -35%の減収である。

### (2)利益

10-12 月期の損益は 6 億ドルの損失、通年では 46 億ドルの利益であり、前年同期と比較すると 10-12 月期は赤字に転落、通年でも前年の 4 分の 1 といずれも大幅な減益である。通年利益のうち上流部門は 20 億ドルのマイナスであり、下流部門は 76 億ドルの利益を確保している。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

### (3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 3.3%であり、前年の 9.1%を大幅に下回っている。

### (4)設備・探鉱投資

2015 年の年間の設備・探鉱投資額は 340 億ドルであり、これは 2014 年比で 16%減である。

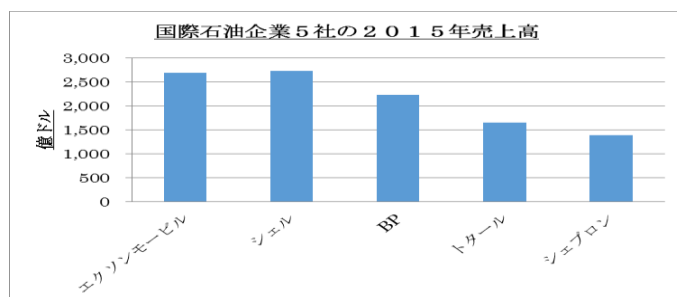
### (5)石油・ガス生産量

昨年の Chevron の石油生産量は日量平均 1,744 千 B/D であり、前年(2014 年)比 2%増であった。天然ガスは日量平均 5,269mmcf/d であり前年よりやや多い。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,622 千 B/D となり、2014 年比では 2%増である。

## II. 2015年の業績比較

### 1.売上高

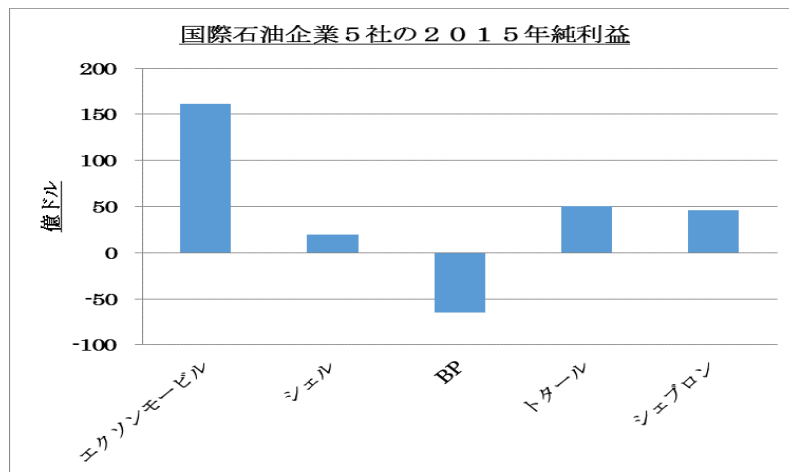


ここでは ExxonMobil, Shell, BP, Total 及び Chevron 5社の2015年の売上高を比較する。5社の中で売上高が最も大きいのは Shell の 2,722 億ドルであり、これに続くのが ExxonMobil の 2,689 億ドルである。なお後述する8カ年(2008-2015 年)業績推移で詳しく触れるが、2011年

までの売上高は ExxonMobil がトップであったが、2012年以降の4年間は Shell がトップである。但し両社の差は極めて小さい。

Shell、ExxonMobilに次いで売上高が大きいのはBPの2, 229億ドルであるが、これはシェルの約8割である。Total、Chevron の売上高はそれぞれ1, 654億ドル及び1, 385億ドルで、トップのShell の売上高のほぼ半分である。

## 2. 利益

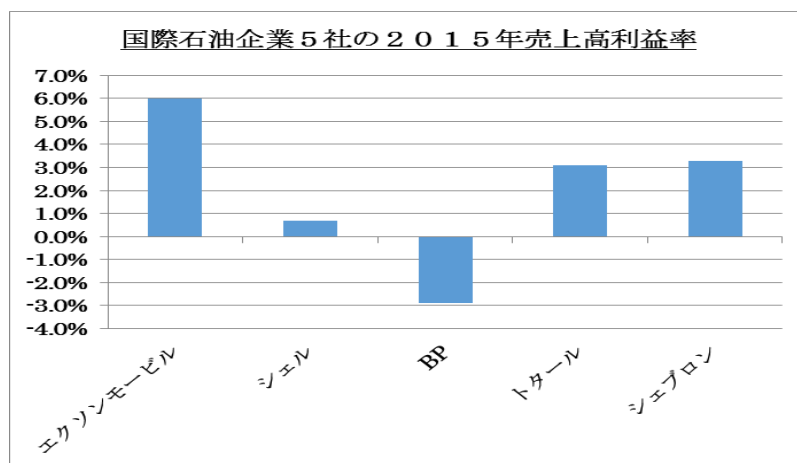


ExxonMobil が5社の中で利益額が最大の162億ドルであり、4社を大きく引き離している。ExxonMobil に次ぐ利益を上げたのは売上高(前項参照)では5社中4番目の Total であり、同社の利益額は51億ドル、ExxonMobil の3割にとどまっている。Chevron は Total よりやや少ない46億ドルである。Shell は

売上高では5社の中で最も大きいですが、利益は4番目の19億ドルにとどまっており、これは ExxonMobil の9分の1に過ぎない。

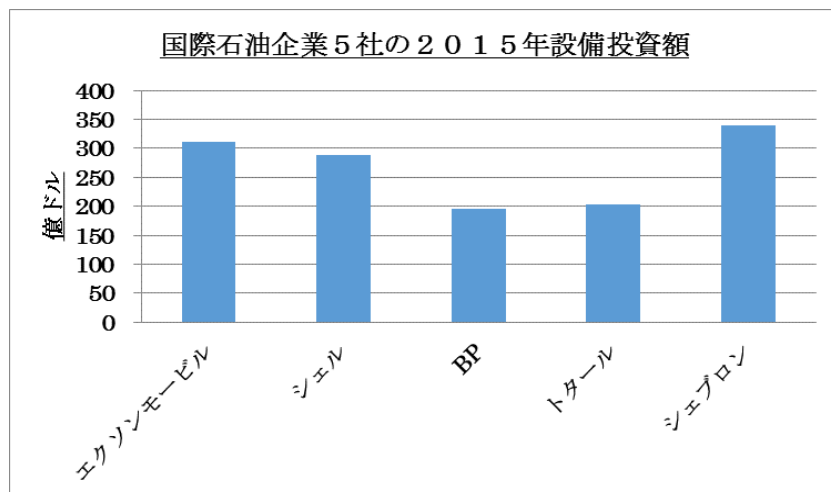
BP は5社の中で唯一赤字であり、損失額は65億ドルに達している。BP は売上高でこそ Shell あるいは ExxonMobil の8割程度を維持しているが利益では大きく見劣りしている。BP はメキシコ湾の原油流出事故およびロシアでの合弁事業を巡るトラブル等で近年利益が低迷し、しかも毎年の利益は浮き沈みが激しくここ2年間は連続して大きく落ち込んでいる。同社の先行きは不安感がぬぐえない。

## 3. 売上高利益率



売上高と利益の比率である売上高利益率を見ると、ExxonMobil が6.0%と他を圧倒しており、次いで Chevron 及び Total がそれぞれ3.3%と3.1%で並んでいる。Shell は売上高トップであるが利益率では0.7%と見劣りする。BP の利益率はマイナス2.9%である。

#### 4. 設備投資額



2015年の設備投資額が最も大きいのはChevronの340億ドルである。Chevronに次いでExxonMobil(311億ドル)及びShell(289億ドル)が続き、Chevronよりも10%前後少ない。TotalとBPの設備投資額はそれぞれ204億ドルおよび195億ドルでありトップのChevronの6割にとどまっている。

#### 5. 石油及び天然ガス生産量 (末尾表 1-D-4-20 参照)

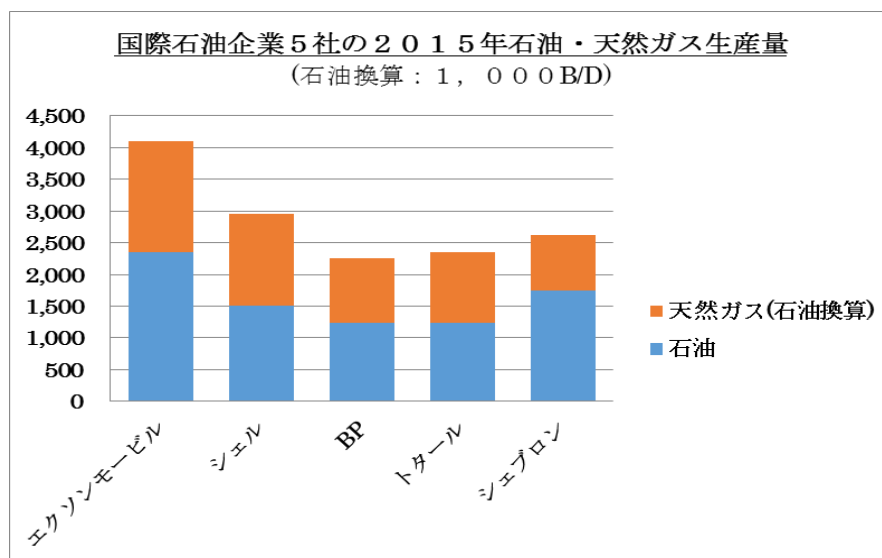
##### (1) 石油生産量

昨年の石油生産量が最も多かったのはExxonMobilの2,345千B/Dであり、5社の中で同社だけが2百万B/Dを超えている。ExxonMobilに次いで生産量が多いのはChevron(1,744千B/D)、第3位はShell(1,509千B/D)である。両社とExxonMobilを比べるとChevronはExxonMobilの4分の3、Shellは3分の2である。BP及びTotalはこれら3社よりかなり少なく、Totalは1,237千B/D、BPは1,232千B/Dの石油を生産しており、ExxonMobilの2分の1強にとどまっている。

##### (2) 天然ガス生産量

天然ガスの生産量が最も多いのはExxonMobil(日量10,515百万立方フィート、以下mmcf)であった。2位以下はShell(8,380mmcf)、Total(6,054mmcf)、BP(5,951mmcf)、Chevron(5,269mmcf)と続いている。Chevronは5社中で最も少なく、ExxonMobilの半分である。

##### (3) 石油・天然ガス合計生産量(石油換算)



石油と天然ガスの合計生産量が最も多いのはExxonMobilであり石油換算で4,097千B/Dである。ExxonMobil以外の4社はいずれも200万B/D台であり、Shellは2,954千B/D、以下Chevron(2,622千B/D)、Total(2,347千B/D)と続きBP(2,258千B/D)が最も少ない。



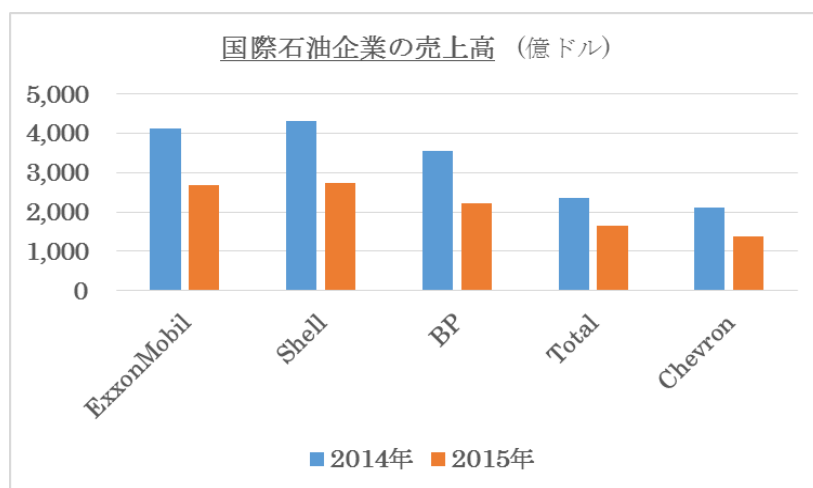
ExxonMobil の生産量を100とした場合、他の4社は Shell72、Chevron64、Total と BP はそれぞれ 57及び55であり両社は ExxonMobil のほぼ半分となっている。

各社の石油と天然ガスの比率を見ると、Chevron は石油67%、天然ガス33%であり5社の中では石油の比率が最も高い。その他4社の石油：天然ガスの比率はそれぞれ、ExxonMobil(石油57%：天然ガス43%)、BP(石油55%：天然ガス45%)、Total(石油53%：天然ガス47%)、Shell(石油51%：天然ガス49%)である。5社はいずれも石油生産量が天然ガス生産量を上回っている。

### III. 2014年と2015年の5社業績比較

2014年と2015年では石油企業を取り巻く環境は大きく変化した。原油価格の急落により国際石油企業は売上、利益が大幅に落ち込み、利益についてはこれまでの稼ぎ頭であった上流部門の利益が急減した反面、下流部門は逆に利益の出る体質となり、両者の立場が逆転した。また原油価格回復の見通しが立たない中、各社とも設備投資を見直す動きが活発化している。ここでは両年の売上、利益、設備投資を取り上げて各社の業績の明暗を分析する。

#### 1. 売上高



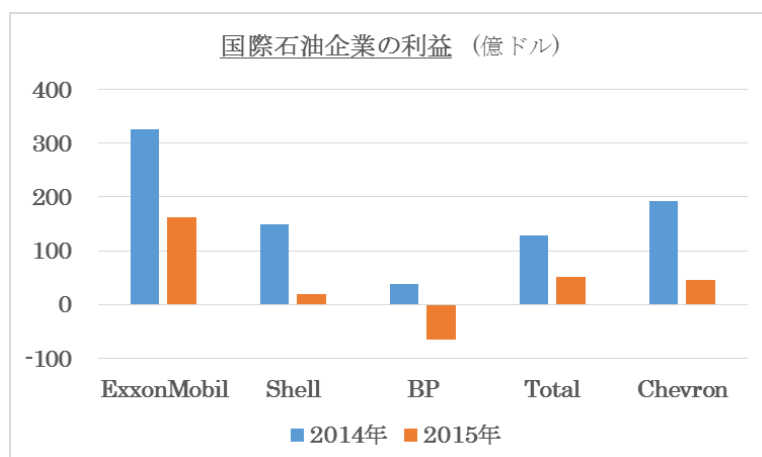
5社の売上順位は2014年と2015年で変化はなく、トップは Shell、2位はわずかな差で ExxonMobil、3位から5位は BP、Total、Chevron と続く。各社とも2014年から2015年にかけて売り上げは大幅に落ち込んでおり、Shellは4,313億ドル→2,722億ドル、ExxonMobil4,119億ドル→2,689億ドル、BP3,536億ド

ル→2,279億ドル、Total2,361億ドル→1,654億ドル、Chevron2,120億ドル→1,385億ドルであった。落ち込み幅が最も大きかった BP は37%減、最も少ない Total でも30%といずれも前年の3分の2前後にとどまっている。

各社ともこの間に大型 M&A による他社資産の買収あるいは自社資産の売却などは無く、また生産量もほぼ前年横ばいであった。したがって売り上げの減少はひとえに石油・天然ガス価格の下落が原因だったと言える。因みに代表的な指標原油である Brent 原油の2014年の年間平均価格は98.95ドル/バレルであり、2015年のそれは48.71ドル/バレルと価格は50%以上下落しており、また天然ガスの指標価格である米国 Henry Hub 引渡価格は百万 BTU 当たり2014年の4.35ドルに対して2015年は2.60ドルであり、40%以上下がっている。

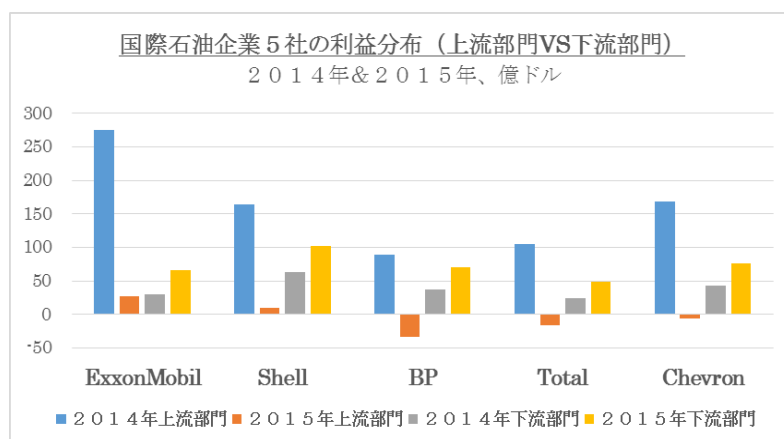
## 2. 損益

### (1) 総合損益



2015年の利益は2014年に比べ各社とも大幅に減少している。2015年に5社で最も利益が多かったのは ExxonMobil でその額は162億ドルであった。しかしこれは同社の2014年の利益325億ドルから半減している。他の4社の利益は ExxonMobil よりもさらに悪く Total は前年の4割(128億ドル→51億ドル)、Chevron が4分の1(92億ドル→46億ドル)、Shell が7分の1(149億ドル→19億ドル)にとどまっており、BP の場合は前年度38億ドルの利益に対して今期は65億ドルの損失を計上している。

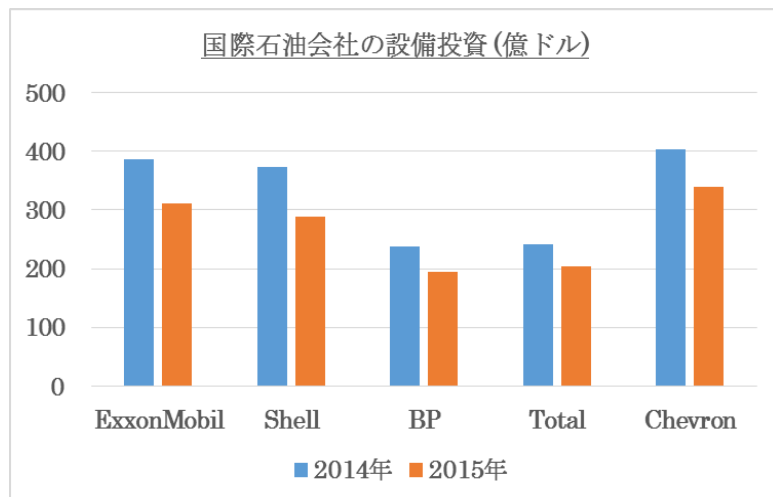
### (2) 上流部門と下流部門の損益比較



各社の利益を上流部門(生産)と下流部門(精製)に分けてみると2014年と2015年はさらに大きなコントラストを見せている。例えば ExxonMobil の場合、2014年の上流部門利益は275億ドル、下流部門は30億ドルであったが、2015年は上流部門28億ドル、下流部門66億ドルである。上流部門の利益が10分の1に急減した一方、下流部門は倍増している。そして上流部門の利益と下流部門の利益が逆転している。この傾向は ExxonMobil 以外の他の4社も同様であり、特にBP、Total、Chevron の3社は上流部門の利益がマイナスに転じている。またいずれの企業も下流部門の利益が上流部門を上回っており、これまで上流部門の利益に依存していた5社は下流部門の稼ぎに頼っているのである。

(注) 最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているなど各社によって異なるため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない

### 3. 設備投資



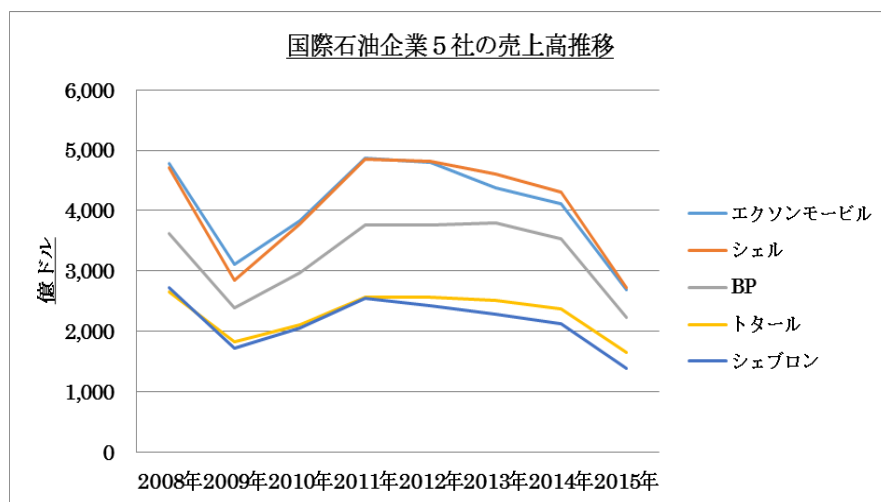
設備投資は5社すべてが前年を下回っており、ExxonMobil は385億ドル→311億ドル(19%減)であり、Shell は373億ドル→289億ドル(23%減)で5社の中では減少幅が最も大きい。また BP は238億ドルから195億ドルに18%減少、Total は241億ドル→204億ドル(16%減)、Chevron は403億ドル→340億ドル(16%減)である。

各社とも原油価格の下落とそれによる業績悪化のため設備投資を削減している。設備投資のうち探鉱開発投資の減少は将来の各社の石油・天然ガス生産量の減少となり懸念される。

### IV. 8カ年(2008-2015年)業績推移の比較

ここでは2008年から2015年までの過去8年間の5社の業績の推移を比較検討する。因みに2008年は年央にBrent原油の価格が史上最高の147ドル(バレル当たり)を記録しており、また2011年から13年までの3年間は年間平均価格が100ドルを超えた。そして2015年は一転して50ドル台に半減している。

#### 1. 売上高



2008年の売上高トップは ExxonMobil の4,774億ドルであり Shell が僅差の4,709億ドルの第2位であった。そして売上高第3位は BP(3,611億ドル)で、Chevron と Total は2,730億ドル及び2,647億ドルであった。5社の順位は2008年から2011年までの

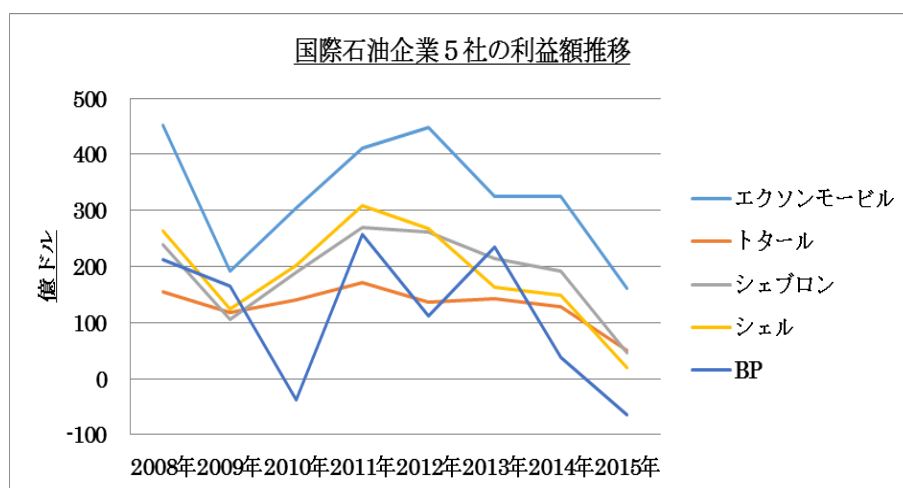
4年間は ExxonMobil がトップであったが、2013年以降は Shell の売上げが4年連続して ExxonMobil を上回っている。ただし両社の差は小さく BP、Chevron および Total の3社とはかなりの差がある。8年間を通じて BP は ExxonMobil、Shell の8割前後であり、Chevron および Total はトップ2社の5~6割の水準で推移している。

年毎に見ると2009年は各社とも前年比で大きく落ち込んでいる。これは2008年に原油価格が

史上最高値となったが、同年9月にリーマン・ショックが発生、世界景気が一気に冷え込んだためである。2009年の原油平均価格は前年比で4割近く下落、販売量も落ち込んだため各社の売上高は ExxonMobil35%減、Shell40%減、BP34%減など軒並み30%以上の大幅な減収となった。

2010年以降は原油価格が持ち直し各社とも売り上げは回復、2011年には年間平均価格が100ドル(Brent)を超えたため ExxonMobil、Shell、BP の3社は2008年をしのぐ売上高となり、Total、Chevron もほぼ元に戻っている。2012年から2013年にかけてはBP、Total は横ばいで、その他3社は5～10%程度の減収となった。しかし2014年後半から石油価格が急落したため同年の売上はいずれも前年を7%前後下回った。2015年は価格がさらに大幅に下落したため5社の売上高は共に前年を30%以上減少、リーマンショック後の2009年を下回り過去8年間では最低の売上高となっている。2008年あるいは2011、12年と比較すると2015年の売上高は5社のいずれも半分近くになっている。例えば2008年を100とした場合2015年の各社はExxonMobil 56、Shell 58、BP 62、Total 62、Chevron 51である。

## 2. 利益



2008年から2015年までの5社の利益の推移を見ると、2008年はExxonMobilが452億ドルの利益を計上、Shell(263億ドル)、Chevron(239億ドル)、BP(212億ドル)、Total(156億ドル)にくらべ Total の3倍、BPの2倍等、他社を寄せ

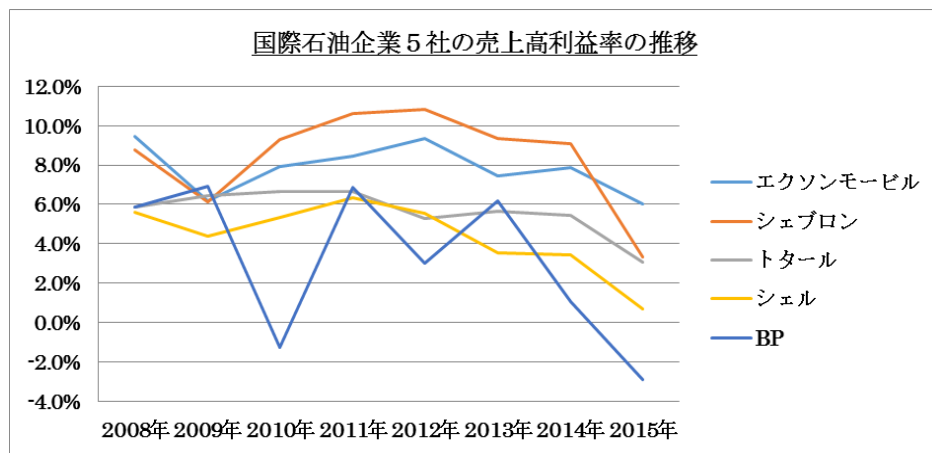
付けない圧倒的な収益力を誇った。

翌年の2009年にはリーマン・ショックと油価の急落により ExxonMobil の利益は前年比で半減するなど各社とも利益が100億ドル台に急減、5社間の利益格差は一気に縮まった。2010年はメキシコ湾原油流出事故によりBPは欠損となったが、その他の4社は油価上昇の恩恵を受けて利益が急回復し、翌2011年には ExxonMobil 以外の4社は8年間で最高水準の利益を計上している。同年の5社の利益はそれぞれ ExxonMobil(411億ドル)、Shell(308億ドル)、Chevron(269億ドル)、BP(257億ドル)、Total(171億ドル)であった。

ExxonMobil は2012年に前年を上回る449億ドルの利益を計上したが、他の4社は利益下落の兆しが表れた。そして2013年以降は5社すべての利益が減少局面に入り、特に2015年には対前年比で50%以上急減している(詳細は III.2参照)。2015年の各社の利益はそれぞれ ExxonMobil(162億ドル)、Total(51億ドル)、Chevron(46億ドル)、Shell(19億ドル)、BP(マイナス65億ドル)で

あるが、これを2008年を100として比較すると ExxonMobil 36、Total 33、Chevron 19、Shell 7、BP -37となり、ExxonMobil および Total で3分の1、Chevron が5分の1、Shell で12分の1、BP は利益から欠損へ転落と言う惨憺たる有様である。

### 3. 売上高利益率

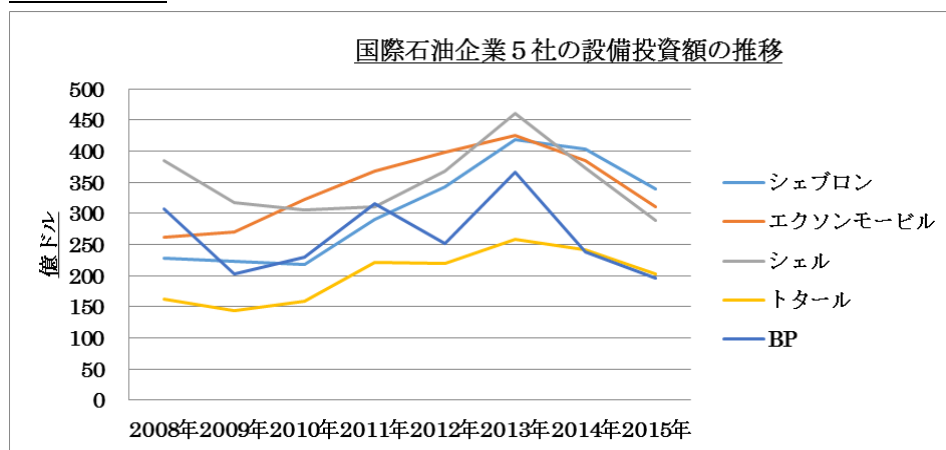


過去8年間を通じて ExxonMobil と Chevron は売上高利益率が安定して高い。ExxonMobil の利益率は9.5%(08年)→6.2%(09年)→7.9%(10年)→8.4%(11年)→9.3%(12年)→7.9%(13年)→7.9%(14年)→6.0%(2015年)であり8年間を通じて6%以上の利益率を確保している。Chevron も8.8%(08年)→6.1%(09年)→9.3%(10年)→10.6%(11年)→10.8%(12年)→9.4%(13年)→9.1%(14年)→3.3%(15年)と時には10%を越え、2010年から14年までは ExxonMobil を上回る利益率を示している。

Shell、BP、Total3社の利益率は2008年は6%弱でほぼ横並びであった。このうちBPは2009年には6社中で最も高い利益率(6.9%)を示したが、翌年は一転して5社の中で唯一マイナスの利益率(-1.3%)を示し11年以降は6.8%(11年)→3.0%(12年)→6.3%(13年)→1.1%(14年)→マイナス2.9%(15年)とかなり不安定な状態である。Shell 及び Total は2011年以降利益率の低下に悩まされており、Shell の2013年の利益率は3.6%と5社の中で最も低く2015年は0.7%にとどまっている。Total は Shell ほどではないが、それでも2011年の6.6%をピークにその後は低下する一方であり、2015年の利益率は3.1%である。

Shell、BP、Total3社の利益率は2008年は6%弱でほぼ横並びであった。このうちBPは2009年には6社中で最も高い利益率(6.9%)を示したが、翌年は一転して5社の中で唯一マイナスの利益率(-1.3%)を示し11年以降は6.8%(11年)→3.0%(12年)→6.3%(13年)→1.1%(14年)→マイナス2.9%(15年)とかなり不安定な状態である。Shell 及び Total は2011年以降利益率の低下に悩まされており、Shell の2013年の利益率は3.6%と5社の中で最も低く2015年は0.7%にとどまっている。Total は Shell ほどではないが、それでも2011年の6.6%をピークにその後は低下する一方であり、2015年の利益率は3.1%である。

### 4. 設備投資



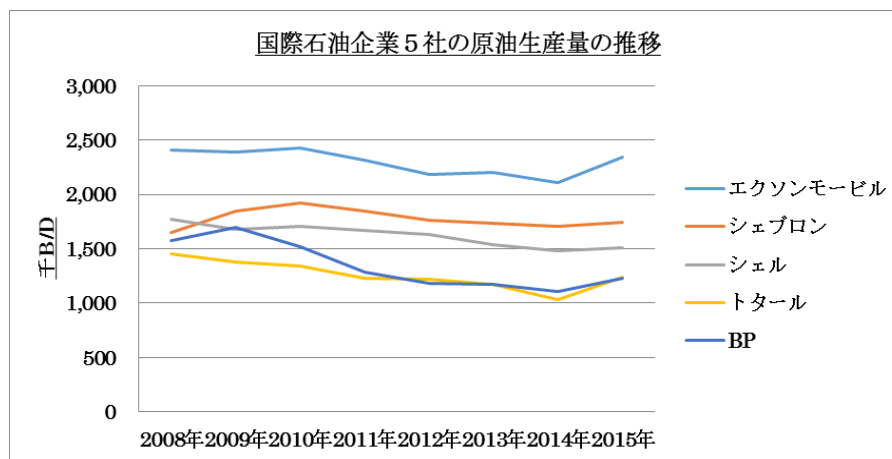
2008年の設備投資額は Shell が384億ドルで最も多く、BP(307億ドル)、ExxonMobil (261億ドル)、Chevron (228億ドル)と続き Total は163億ドルで最も少なかった。翌2009年に

は Shell と BP の2社は投資額が大幅に減少しているが、Shell は引き続き6社の中では最も多い317億ドルであった。2009年以降2013年にかけては設備投資額が増加する傾向にあり、2013年には5社とも2008年の投資額を上回っている。2008年と2013年を比較した場合、特に Chevron は1.8倍、ExxonMobil、Total は1.6倍など大きく膨れ上がり、Shell 及び BP も1.2倍であった。

しかし2014年および2015年はいずれも設備投資を抑えている。特に Shell は2013年に460億ドルとピークに達した後、373億ドル(14年)→289億ドル(15年)と急激に減少しており過去8年間では投資額が最も少ない。また BP も366億ドル(2013年)→238億ドル(14年)→195億ドル(15年)と減少しており、両社の設備投資は2008年の7割前後に落ちている。2014年の石油価格の暴落により売上および利益が急落したこともあり各社とも設備投資を削減する方向にあるが、特に上流部門の設備投資削減は安定的な生産維持にとっては懸念要因である。

## 5. 石油及び天然ガス生産量

### (1)石油生産量



5社の2008年から2015年までの石油生産量の推移を見ると、8年間を通じて ExxonMobil は他の4社を大きく引き離している。同社の生産量は2,405千 B/D(08年)→2,387千 B/D(09年)→2,422千 B/D(10年)

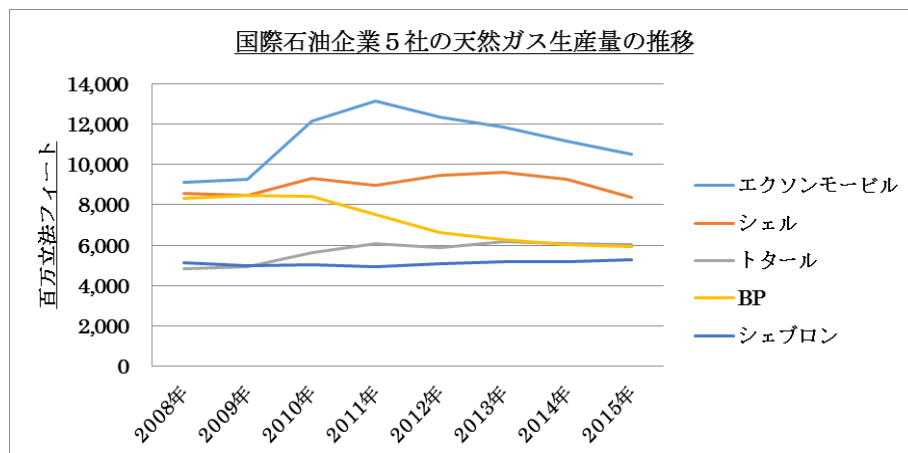
→2,312千 B/D(11年)→2,185千 B/D(12年)→2,202千 B/D(13年)→2,111千 B/D(14年)→2,345千 B/D(15年)と常に2百万 B/D 以上を維持しているが、これに対して他の4社は7年間を通じていずれも百万 B/D 台である。

ExxonMobil 以外の2008年の生産量は Shell1,771千 B/D、Chevron1,649千 B/D、BP1,575千 B/D、Total1,456千 B/D で4社間に大きな差は無かった。その後 Chevron が2009年、2010年と生産量を増やし、ExxonMobil に次ぐ第2位の生産量を誇っている。しかし2010年以降2014年までは5社はいずれも毎年生産量が減少し続けており、2014年の各社の生産量は ExxonMobil 2,111千 B/D、Chevron1,709千 B/D、Shell1,484千 B/D、BP1,106千 B/D、Total1,034千 B/D に落ち込んだ。2015年は ExxonMobil、Shell および Total3社の原油生産量は前年を上回り、Chevron、Shell の2社は横ばいであった。

2008年の生産量を100とした場合、2015年の各社生産量は ExxonMobil 98、Chevron 106、Shell および Total 85、BP 78であり、5社の中で Chevron のみが2008年を上回っているが、他の

4社は8年前の生産量を下回っている。特に BP の減少幅が大きい。

## (2)天然ガス生産量

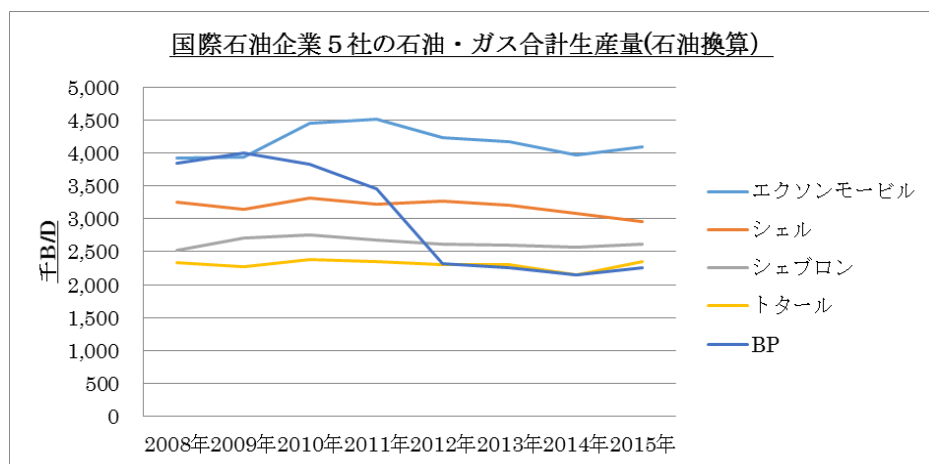


2008年から2015年までの天然ガスの生産量は各社で明暗が分かれている。2008年の生産量はExxonMobil、Shell及びBPが80~90億立方フィート/日（以下 cfd）でほぼ並んでおり、TotalとChevronは50

億 cfd 前後であった。その後2010年から11年にかけてはExxonMobilの生産量は急激に増加伸び、またShell及びTotalも漸増傾向を示したのに対し、BPは大幅に減少、Chevronは横ばいにとどまっている。但し2011年以降ExxonMobilは生産量の減少に歯止めがかからず2011年の132億 cfdが2015年には105億 cfdに落ち込んでいる。

2015年の各社の生産量はExxonMobil 105億 cfd、Shell 84億 cfd、Total 61億 cfd、BP 59億 cfd、Chevron 53億 cfdとなり、トップのExxonMobilとTotal、BP及びChevronとの格差は2倍前後に開いている。因みに2008年の生産量を100とした場合の各社の2015年のそれはTotal 125、ExxonMobil 116、Chevron 103、Shell 98、BP 71である。

## (3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)



石油と天然ガスの合計生産量(石油換算)を見ると、2008年にはExxonMobil(3,921千 B/D)とBP(3,838千 B/D)が並び、これにShellが3,248千 B/Dで続き、Chevron(2,530千 B/D)とTotal

(2,341千 B/D)は2百万 B/D 台であった。

2015年までの8年間でBPは220万 B/D 前後まで急減、その他4社は2014年までほぼ横ばい乃至下降気味となり、2015年にはやや回復している。上記(1)石油生産量及び(2)天然ガス生産量の推移からもわかるとおり、BPは石油、天然ガスともに激減しており、ExxonMobil、Shell、Total

の3社は石油の落ち込みを天然ガスの増加でカバーして横ばいを維持している状況である。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp



## 2015年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)国際石油企業の業績

		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2015年10-12月	59,807	60,176	49,172	37,749	29,247
	前年同期	87,276	94,166	73,997	52,511	46,088
	増減(%)	-31.5%	-36.1%	-33.5%	-28.1%	-36.5%
	2015年1-12月	268,882	272,156	222,894	165,357	138,477
	前年1-12月	411,939	431,344	353,568	236,122	211,970
	増減(%)	-34.7%	-36.9%	-37.0%	-30.0%	-34.7%
利益(百万ドル)	2015年10-12月	2,780	939	▲ 3,307	▲ 1,626	▲ 588
	前年同期	6,570	595	▲ 4,407	▲ 5,658	3,471
	増減(%)	-57.7%	57.8%	-25.0%	-71.3%	-116.9%
	2015年1-12月	16,150	1,939	▲ 6,482	5,087	4,587
	前年1-12月	32,520	14,874	3,780	12,837	19,241
	増減(%)	-50.3%	-87.0%	-271.5%	-60.4%	-76.2%
売上高利益率(%)	2015年10-12月	4.6%	1.6%	-6.7%	-4.3%	-2.0%
	前年同期	7.5%	0.6%	-6.0%	-10.8%	7.5%
	2015年1-12月	6.0%	0.7%	-2.9%	3.1%	3.3%
	前年1-12月	7.9%	3.4%	1.1%	5.4%	9.1%
設備投資(百万ドル)	2015年10-12月	7,416	7,894	6,138	4,289	8,707
	前年同期	10,464	9,651	6,734	6,409	11,290
	増減(%)	-29.1%	-18.2%	-8.9%	-33.1%	-22.9%
	2015年1-12月	31,051	28,861	19,531	20,360	33,979
	前年1-12月	38,537	37,339	23,781	24,140	40,316
	増減(%)	-19.4%	-22.7%	-17.9%	-15.7%	-15.7%

(1-D-4-20 Cont' d)

		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
原油生産量 (1,000B/D)	2015年10-12月	2,481	1,532	1,326	1,251	1,775
	前年同期	2,182	1,526	1,149	1,077	1,732
	増減(%)	13.7%	0.4%	15.4%	16.2%	2.5%
	2015年1-12月	2,345	1,509	1,232	1,237	1,744
	前年1-12月	2,111	1,484	1,106	1,034	1,709
	増減(%)	11.1%	1.7%	11.4%	19.6%	2.0%
天然ガス生産量 (100万 cfd)	2015年10-12月	10,603	8,741	6,048	5,993	5,385
	前年同期	11,234	9,782	6,021	6,219	5,100
	増減(%)	-5.6%	-10.6%	0.4%	-3.6%	5.6%
	2015年1-12月	10,515	8,380	5,951	6,054	5,269
	前年1-12月	11,145	9,259	6,016	6,063	5,167
	増減(%)	-5.7%	-9.5%	-1.1%	-0.1%	2.0%
原油・ガス生産量 (石油換算 1,000B/D)	2015年10-12月	4,248	3,039	2,369	2,352	2,673
	前年同期	4,054	3,213	2,187	2,229	2,582
	増減(%)	4.8%	-5.4%	8.3%	5.5%	3.5%
	2015年1-12月	4,097	2,954	2,258	2,347	2,622
	前年1-12月	3,969	3,080	2,143	2,146	2,571
	増減(%)	3.2%	-4.1%	5.4%	9.4%	2.0%